

第33回

日韓海峡沿岸県市道知事会議

UN-SDGs実現に向けた カーボンニュートラル



 제주특별자치도



지속가능 행복도시 제주



2040年 済州特別自治道 持続可能な開発基本戦略



グローバル共栄の
済州未来ビジョン

人類の生命を脅かす

グローバル複合危機



気候危機



食料安全
保障

環境

経済

社会



大韓民国政府計画より15年先行する

済州、2035年カーボンニュートラル実現



2035年
温室効果ガス排出

474万トン

相殺



再生可能エネルギー
発電設備

7GW

以上



再生可能エネルギー
発電比率

70%

以上



基幹電源を
再エネ+グリーン水素

100%

転換

2025年4月

一時的にRE100達成



風力

4時間にわたり
電力需要を全て賄



カーボンニュートラル
実現の可能性を証明



太陽光

炭素吸収源の拡充

600万本の植樹

2022-2026

年間11,357トン

CO₂吸収



乗用車約4,700台が排出する温室効果ガスを相殺

セミ・マングローブ林造成

2025-2029

年間296トン

CO₂吸収

大韓民国広域自治体で初

◆ カーボンニュートラル先導都市に選定 ◆

農畜産業

RE100農業と未来の食糧



一般牛乳より約30%高価格でも

消費者の反応は良好



輸送

温室効果ガス排出ゼロの輸送

電気自動車普及率



電気自動車転換計画



クリーンバイオエネルギー生産施設

食品廃棄物を原料・バイオガス基盤・500kg 規模



1日20台の水素バス充電が可能



資源循環

2040年プラスチックゼロ済州

使い捨てカップデポジット制度

2022年から全国初実施

1,309万個
カップを回収

109トン
プラスチック削減

※ 基準：2025年9月

リユース容器使用

様々な行事・祭りでリユース容器を使用



- ・ 240万個のリユース容器使用
- ・ 50トンのプラスチック削減

済州デジタル環境運動
プラットフォーム

済州プロゲアプリ



持続可能な成長のため

済州からの特別な提案

8県市道による
2040年カーボンニュートラル



プラスチックゼロ実現



カーボンニュートラル
国際ウィークの運営、
優良事例共有と協力強化

新規共同交流事業提案

カーボンニュートラル青少年キャンプ

8県市道の青少年が集い、
気候危機への対応策を模索



日韓海峡圏の持続可能性を確保





人と自然、技術が調和する新たなグリーン成長の原動力

世界が注目するカーボンニュートラル文明都市

**持続可能な転換、
済州が先頭に立ちます！**

 제주특별자치도

 지속가능 행복도시 제주